

2026 年度 一般入試Ⅲ期 (3/23)

学力試験 <小論文>

<注意>

1. 試験開始の合図があるまでこの冊子は開いてはいけません。
2. この冊子は3ページあります。ページの脱落や解答用紙の汚れがあった場合には、監督者に申し出てください。

受付番号 () 氏名 ()

問 以下の文章を読んで、作者の考えを簡潔にまとめ、あなたの意見を加えて、600 字以内の文章を完成させよ。

人間というものは、つくづく身勝手なものだ。公平無私の代表といわれるような人でも、その実生活をのぞいてみると、ずいぶん自己流の独断偏見にこりかたまっているようである。それが当然で、そこに人間の強さも弱さもおもしろさもある。

私が内心おどろくのは、赤ちゃんをはじめて持った親たちが、半ば強制的に他人にこれを見せたがることだ。生れたての赤子というものは、サルに似ているといえは讚めすぎで、まあムシケラのようなものである。ムシケラを私は好きだから見るのはかまわないが、これを讚めないと、親たちは必ず機嫌を損ずる。これほど専横なことも少ない。

親たちは赤ん坊の写真を撮る。笑ったら笑ったで、這ったら這ったで、それぞれ記念に数限りない写真を撮る。そしてアルバムというものをつくる。両親にとっては実にたのしいことであり、億万の写真をとったからといって文句をいわないが、困るのはこれを他人に見せようとするのである。

見せられたほうは思う。「なるほどこれは赤ん坊の写真だ。しかしどれもこれもおんなじじゃないか」だが、急いでアルバムをめくったりしてはいけな。いかにも感じいったふうにしないと、それからの交際に傷がつく。

こんなことを書けるのも、私がまだ赤ん坊を所有していないからで、所有すれば世の親たちと同じであろう。私だったら赤ん坊の銅像をつくってやる。

私は人工的につくられた観賞植物というのがきらいだ。野の雑草につく小花のほうがどれほど好ましかわからな。これは私の偏見であろうが、どうにも仕方がない。

世の女性というものは心やさしく、美的情緒を求めて、部屋の中に花など飾る。みんな人工的な美しい花だ。私は身勝手な人間ではあるが、他人のやることにはクチバシを入れない。私には特有のアレルギー体質もないから、花の匂いでジンマシンができてしまうこともないのである。

しかし女性はなにしろ心やさしいから、他人の机の上にまで花瓶をおきたがる。花瓶には水を入れる。そこにさまざまな人工的な花をさすのである。

これは多少邪魔ではあるが、まあ我慢することにする。しかし我慢ならぬのは、この花瓶がひっくりかえることである。ひっくりかえすのは私だが、どういうものかこれが必ずひっくりかえる。そうなると、机の上は水びたしで、私が激怒したとて少しも無理はないだろう。すべては花のせいなのだ。そうなると私は世界のすべての花を呪う。せいぜい花瓶にさされることのない、タンポポとゼニゴケとペンペン草だけが地上に残ればいいと思う。

だから私には、きれいな花壇をつくったり、球根を植えたりする趣味はない。球根を水栽培したりしてあるのを見ると、それが自分の机の上に置かれてないことを神に謝したくなる。ある女性がその水栽培をやっていたが、友人の家のはもうつぼみが出たというのに、自分のは芽がようやく出たばかりなのである。

「ずいぶん不公平ね」

といって、彼女は早く芽を大きくしようと、そのうつわにお湯をさし、すっかり枯らして

しまった。私はその話をきき、一日じゅう心がなごんだ。

ところが最近、この課程が変わった。私はしばらく前、はじめて自分の家を持ったのだが、庭は砂ほこりのたつ土のまんまである。引越しすまして数日後、付近の商店街まで行ってみると、そこに小さな球根を売っていた。いかなる悪魔のはからいか、私はだしぬけにそれを買って求める気になった。クロッカスとサフランだそうである。私は庭の土を掘って球根を植えようとしたが、少し掘るとカワラと石ころばかり出てきたので、いい加減に埋めてほっておいた。

ところが、半月後、いきなりそのサフランの花がふくよかに咲いているのを発見したのである。いやに早すぎて、奇跡のようで、それよりも気恥ずかしいくらい、かわいくてかわいくて、私は自分が精神に異常を来したのではないかと思った。

クロッカスのほうは、とんと音さがなかったが、年を越して二月、これまた可愛い芽が出、やがて黄色い花を開いた。

ところで、このサフランとクロッカスを私は別な花だと思っていたが、そもそもサフランのギリシャ名がクロッカスなのだそうである。地中海沿岸と西南アジアにおよそ七十五種が分布していて、春咲きのほうが普通だが、秋咲きもかなりあるそうだ。

(北 杜夫『どくとるマンボウ小辞典』より)

一般入試Ⅲ期 (3 / 23) 学力試験＜小論文＞解答用紙

受付番号 () 氏名 ()

This image shows a full page of graph paper. It features a grid of solid black lines that divide the page into six horizontal sections, labeled 1 through 6 on the right margin. Each section contains a fine grid of dashed lines, creating small squares suitable for detailed drawing or calculation. The entire page is enclosed in a solid black border.

選考名	一般入試Ⅲ期
科 目	小論文

出題の意図

北 杜夫『どくとりマンボウ小辞典』から課題文を準備して、作者の意見を読み解き整理することを求めた。あわせて自身の意見を述べることを求めた。定められた字数を有効に活用しながら、論理的な文章を記すことができるかを試すことを意図した。

解答のポイント

自身の意見を述べるためには、まず引用文の内容を適切に読み解くことが必要となる。内容整理の程度が問われよう。あわせ求められる自身の意見は、引用文の内容から大きく外れることが好まれない。文章が論理的に展開されているかが求められる。段落の使用や誤字等への注意も注意が求められる。